

令和6年度 地区会報告

I 北海道地区・東北地区

【北海道地区会】

日時

令和6年9月8日（日）
～10日（火）

場所：

書面会議

参加者 全21名

札幌校：

花輪大輔 李知恩

旭川校：

大石朋生 南部正人
岩永啓司 馬場拓也

釧路校：

佐々木宰

函館校：

牧野香里

岩見沢校：

佐々木けいし
三橋純予 阿部吉伸
岩崎仁美 大西洋
倉重哲二 酒井秀治
末次弘明 土井伸也
羽子田龍也 船岳紘行
三浦啓子 伊藤隆介

■協議事項

1, 地区構成員の確認

この数年、北海道地区（＝北海道教育大学5キャンパス）では退職、新任、異動、さらに前例のない退会など変更が多く、名簿への不記載の発生もあったため、総務局へ行なった登録や変更について再確認を行った。

2, 令和8年度の 大学美術教育学会大会（本学担当校）での開催について

令和8年度の北海道大会担当についての方向性について現状報告の共有を行い、了承された。

(1) 大会組織の構成について

① 幹事校（キャンパス）は定めず、「北海道教育大学」として5キャンパス全体として対応する。

② 5キャンパスの代表による実行委員会（プロジェクトチーム）を組織し、実施については全教員で担当する。

③ 地区全国委員・理事と実行委員会は業務を分け、負担を軽減する。本人からの希望等がある場合は兼任を妨げない。

(2) 次回大会について

① 美術教育の南部（旭川校）、佐々木（釧路校）が中心となり、必要メンバー及び各キャンパスから選出した構成員で実行委員会（プロジェクトチーム）を組織、企画立案等を行う。

② 各キャンパスからの委員については、若手教員を参加することとし、大会運営やスキルなど継承を重視する。

③ 実施地についてはキャンパスに限定しない。自治体や企業、他大学施設などを含め、幅広く現実的な方向で検討する。

④ 全体懇親会やエクスカージョンを省略するなど、負担の少ない工夫を探る。

⑤ 開催に関わる事務などは、専門の企業にアウトソーシングするなど、開催による本学教員の負担の少ない運営方法を検討する。

■報告事項

1, 教大協全国美術部門 地区課題アンケート
先日行われた地区課題のアンケートについて、その回答内容の共有を行なった。主たる内容は以下の通り。

- ・新卒教員・若年層の教員へのサポートとネットワークの必要性
- ・免許外教科担任の解消
- ・教職大学院への移行による、教科教育修士取得者の減少

2, 学会大会スケジュール

今年度（金沢大会）、来年度（千葉大会）について紹介を行なった。

作成者：北海道教育大学岩見沢校 伊藤隆介

【東北地区会】

日時

令和6年6月28日（金）
13：30～17：00

研究協議会

6月29日（土）

9：30～12：00

研究協議会（自主研修）

場所

街なかランチ舟場

参加者

全9名

■協議事項

1, 東北地区理事の全国大会への参加補助について

東北地区会規程の規約「年会費は、各大学専任教員1名当たり2,000円とし、定例総会の当日当番大学へ納入する。」に関して審議された。全国で会員が減っており役員旅費の支給も厳しくなっている現況や、オンラインによる会議参加が可能となっている状況を鑑み、規約を改定し、今年度から2,000円徴収の記載を削除する案を提案され、全員一致で了承

された。

■報告事項

1, 生成AI、Chat GPTの状況と対応について

弘前大学からの解説に伴い、各大学から資料に基づき現況が報告された。教授会での話題提供や全学研究FDにおけるChatGPTの教育に関する活用（福島大学）、「A I 研究推進センター」の設置（山形大学）、さらには群馬県で美術の授業にAIを導入することとなっ

弘前大学：
富田晃
岩手大学：
和田学
山形大学：
具志堅裕介
秋田大学：
長瀬達也
宮城教育大学：
村上タカシ 梶原千恵
福島大学（開催校）：
新井浩 渡邊晃一
加藤奈保子

た背景に加えて、著作権の侵害、倫理的な扱いについての情報提供とともに、意見交換を行った。

2, 小学校図画工作科に関する初等教育科目（内容学、小学校免許必修）の指導の体制や内容（材料・用具および受講生の金銭負担など含む）について

秋田大学からの提案に伴い、各大学から資料に基づき現況が報告された。小学校教員免許種の学生が進学の際し、コースの美術希望者が少ない状況や、特任講師が担当している大学では限られた予算の中で工面している状況等を報告された。

3, 美術コースへの入学志願者および入学後の学内進学者を増やす取り組みについて

岩手大学からの提案に伴い、各大学から資料に基づき現況が報告された。全国的に少子化に伴い、受験希望者が少なくなっている状況のなかで、オープンキャンパスやOB、OG訪問、美術系大学の説明会への参加、高校生が大学でおこなうデッサン教室などの活動が加えて紹介された。

4, 教員への進路希望や修学意欲の薄い学生への指導・対応の方法について

岩手大学から教員への進路や民間企業や公務員など教員以外の職業を希望する学生の修学意欲を高めるための指導、対応の方法について説明があり、教員採用に関連した効果的な対応などの報告があった。

5, 教員採用試験の日程の前倒しにともなう具体的対策について

各大学から、資料に基づき現況が報告された。教育実習や入試の日程と重なることの間

題点、学校ボランティアや大学の推薦制度、就職支援委員会での対応、教職大学院生の負担などについて紹介された。

6, 複数免許取得の状況について

岩手大学からの資料に基づき、各大学から資料に基づき、免許取得と卒業要件、副免許取得等について報告があった。

7, 美術科（美術科教育）の入試における地域枠の活用とその課題について

各大学から資料に基づき、試験実施の概要、募集人員、合格者人数等についての報告があった。

8, 入学者選抜方法と美術科教員養成の関係について（宮教大）

宮城教育大学から新カリにおける入学者選抜方法について資料に基づき説明があり、各大学から入試選抜方法と美術科教員の現況について報告された。美術免許（中・高）維持の方法に加えて、昨年度に続き、少子化を見据えた入学者数の減少が予想されことを念頭にした方策を共有した。

9, 就職状況について（福島大、山形大）

各大学から資料に基づき、就職状況についての報告があった。

10, 部門地区課題アンケートについて（福島大）

各大学から提出されたアンケート内容に基づき、部門地区の課題について共有された。

■その他

特になし。

作成者：山形大学 小林俊介

II 関東地区

【関東地区会】

日時

令和6年7月6日（土）

13：30～15：00

場所

群馬大学

（Zoomでの遠隔開催）

出席者 全34名

茨城大学：

島剛、甲斐教行

筑波大学：

■協議事項

1, 会費徴収について

令和6年度会計担当の群馬大学の提起により、地区会に繰越金が一定額あるため必ずしも毎年度会費を徴収する必要はないと考えられることから、会費の徴収にかかる付記を「関東地区会規程」に加えることが提案され、承認された。これを受け、令和6年度は、会費を徴収しないことが諮られ、承認された。

2, 「美術部門アンケート」をもとにした意見

交換

「地区課題と問題点」では、教員養成学部と附属校や県教育委員会との連携強化、美術教育団体や教員研修、地域との関係促進、離職を防ぐ就業継続支援について、現状と課題を共有した。

3, その他

(1) 全国美術部門（本部）への要望事項

・美術普及活動の事例共有・発信、地域における知名度を高めることなどの交流機会の

直江俊雄、仏山輝美
 宇都宮大学：
 株田昌彦 松島さくら子
 梶原良成 本田悟郎
 群馬大学：
 林耕史 齋江貴志
 喜多村徹雄 市川寛也
 埼玉大学：
 平野英史 小澤基弘
 内田裕子 桜井龍
 千葉大学：
 神野真吾
 東京学芸大学：
 古瀬政弘 速水敬一郎
 清野泰行 花澤洋太
 欽矢悦朗 朝野浩行
 石井壽郎 尾関幸
 相田隆司
 横浜国立大学：
 原口健一 小池研二
 河内啓成 伊藤一誉
 山梨大学：
 栗田真司 井坂健一郎
 平野千枝子 武末裕子

重要性を確認するとともに、事業・活動の簡略化、地区会の再編成、複数大学連携による全国大会の実施について検討していく必要があるとの意見があった。

(2)2025年度大学美術教育学会全国大会（関東地区）について

・関東地区で開催される次年度全国大会に向けて、本部と協議連絡が始まったことが担当大学である千葉大学から報告されると共に、準備推進について関東地区会への協力が呼びかけられた。

■報告事項

1, 各大学の現状と課題

「関東地区会議事 承合事項」として、以下項目について現状報告と共有、意見交換が行われた。

(1)「入試関連」

- ①総合型選抜入試について
- ②入試業務に伴う人員配置について

(2)「大学・学部運営関連」

- ①教員削減と大学予算の現状について
- ②業務増に対する各大学の改革等について
- ③テニューアトラック制について

(3)「授業・進学進路関連」

- ①卒業制作展、卒業論文について
- ②教職大学院への進学率および修了後の進路について

2, 地区新任、異動、退職者報告

- [入会] 桜井 龍（埼玉大学）
伊藤一誉（横浜国立大学）
- [退会] 渡辺邦夫（横浜国立大学）
加藤 修（千葉大学）
- [異動] 高須賀昌志（埼玉大学から千葉大学）

■その他

1, 次年度の関東地区会の開催方法について
 当番大学の山梨大学で検討中あることが報告された。

作成者：群馬大学 喜多村徹雄

III 北陸地区・東海地区

【北陸地区会】

日時

令和6年9月13日（金）
 14：00～15：30

場所

金沢大学 総合教育講義棟 B8 講義室

出席者 全名

金沢大学：
 池上貴之 鷲山靖
 富山大学：
 上山彰 隅敦
 上越教育大学：
 安部泰
 信州大学：
 大島賢一
 新潟大学：
 丹治嘉彦
 福井大学：
 湊七雄 坂本太郎
 小笠原文

■協議事項

1, 大学の授業における小学校図画工作、中学校 / 高校の美術の教科書はどのような位置付けか。

大学授業での教科書の取り扱いについて、それぞれの大学から意見が述べられた。概ね教科書内容に沿った教育活動を大学で展開していることが確認された。一方ですべての教科書を用意するためには費用がかさむことなど課題も指摘された。

2, 教員養成大学として今後、美術教育をどのように維持・発展させていくべきか

各大学における教員の人事体制が報告された。共同教員養成課程での人事体制についての説明がされた。いずれの大学も教員が減少傾向にあり、教育の質を確保が共通の問題点として認識された。

3, その他

■報告事項

1, 各大学の現状と課題

各大学において、美術科教員退職後に補充が容易でないことが報告され、課程認定をもとに出している美術教育関連の免許（幼、小、中、高）及び体制の維持が課題となっていることが共有された。

2, 地区新任、異動、退職者報告

・本年度の異動、退職はなし

■その他

特になし

作成者：福井大学 小笠原文

【東海地区会】

日時

令和6年6月16日(日)
10:15～14:30

場所

岐阜県図書館2階
研修室1、岐阜県美術館

出席者：全13名

静岡大学：

占部史人 川原崎知洋
名倉達了 高橋智子

愛知教育大学：

佐々木雅浩 永江智尚

三重大学：

上山浩 岡田博明

岐阜大学：

河西栄二 山本政幸
山田唯仁 野村幸弘
隼瀬大輔

■協議事項

1, 令和6年度 部門・学会地区委員について
令和5・6年度地区委員の永江智尚(愛知教育大学)を事務代表とすることが確認され、令和6・7年度地区委員として川原崎知洋(静岡大学)を選出した。

2, 次年度(令和7年度)開催地について
令和7年度東海地区会開催校は、地区内でのローテーション(岐阜大学→静岡大学→愛知教育大学→三重大学)にもとづき、静岡大学に決定した。

3, 志願者数の動向(入試情報)について
学部・大学院における入試区分・入試科目、実技試験の内容、配点や、入学定員数、志願者数、合格者数、受験倍率などについて、ここ数年間の動向が各大学から報告された。原因は調査中であるが、令和6年度の受験倍率が大きく増加したとのことが、静岡大学より報告された。

4, 卒業生・修了生の動向(進路情報)について

各大学の令和5年度卒業・修了生の進路状況について報告された。教職に就く割合は、横ばいもしくはやや増える傾向にあった。教職への意欲を問う入試にしたことや、部活の外部委託などの小中高教育現場の業務改善も影響していることが考えられるとの意見があった。

5, 各大学学部・大学院における改革・改組等の状況について

各大学とも教職大学院に一本化されたが、定員充足のために「教員免許を持っていない人でも教職大学院の3年間で小中の教員免許を取得できるプログラム」「小学校全科の学習

や研究が可能なコース」「教育実践より研究内容に重点を置いたプログラム」などの新設が報告された。

6, 教大協全国美術部門 地区課題アンケートアンケートの質問項目に沿って情報共有が行われた。地域が抱える課題としては、大学内の専任教員の減少により学内の授業運営や地域支援が難しくなっていることや、中高の美術科教員の採用数が少ないことなどの情報が共有された。部門の在り方については、会報発行や部門協議会開催頻度の低減などによる事業規模縮小や、部門員間の連携強化など、活発な意見交換が行われた。

7, 現代美術の現状と教育大学美術カリキュラムの方向性について

岐阜県美術館の企画展示「クロスアート4ピロング」を学芸員の解説を受けながら鑑賞し、現代美術の現状や、各教育大学のカリキュラムの内容、方向性について意見交換を行った。

■報告事項

1, 昨年度の卒業制作展の開催状況及び今年度の計画等

卒業制作展を大学内で実施することで開催業務や費用を削減する取り組みや、美術館での卒業制作展に卒業学年以外も出品することで展覧会開催のノウハウを勉強できる機会とする取り組みなど、それぞれのメリットやデメリットが紹介された。各大学が広報のためにホームページだけでなくSNS(インスタグラムなど)も活用していることが報告された。

作成者：愛知教育大学 永江智尚

IV 近畿地区・四国地区

【近畿地区会】

日時

令和6年6月29日(土)
9:30～12:00

場所

オンライン開催

出席者：全9名

奈良教育大学：
竹内晋平

■協議事項

1, 今年度の新規全国理事の選出
・2024-2025年度：前芝先生[兵庫教育大学]
(2023-2024年度：竹内先生[奈良教育大学])
・確認事項：地区全国理事は輪番で担当
(2025-2026年度は京都教育大学から選出)

2, その他

地区会の会計管理についての確認がなされた。今年度予算配分は70,000円の見込みであること(年度により変更の可能性あり)、昨年度は香川大会での司会協力に伴う旅費の支出を行ったこと、等について情報共有を行った。

■報告事項

1, 会員数、入退会者の確認について

兵庫教育大学：
前芝武史
神戸大学：
勅使河原君江
京都教育大学：
日野陽子 丹下裕史
滋賀大学：
村田透
和歌山大学：
寺川剛央 永沼理善
大阪教育大学：
谷村さくら

(退会) —
(入会) 奈良教育大学： 池田藍子 先生
(会員数) 奈良教育大学 6名
兵庫教育大学 6名
神戸大学 2名
京都教育大学 4名
滋賀大学 5名
和歌山大学 2名
大阪教育大学 9名
2, 今年度の全国大会（金沢大会）について
・日程： 令和6（2024）年

9月14日（土）・15日（日）
・会場： 金沢大学総合教育講義棟
・形式： 現地参集による対面開催
3, 各大学からの報告（総務局より依頼のアンケートに基づいて）
各大学より資料に基づき、「各大学の現状」および「総務局より依頼のアンケートへの回答内容」について報告と質疑がなされた。
作成者：奈良教育大学 竹内晋平
兵庫教育大学 前芝武史

【四国地区会】

日時
令和6年6月11日（火）
18:30～19:30
場所
Zoomによるオンライン会議
出席者 全4名
香川大学：
尹智博
愛媛大学：
佐々木昌夫
高知大学：
金子宜正
鳴門教育大学：
家崎萌

■協議事項
1, 令和6年度四国地区全国委員選出について協議の結果、愛媛大学の佐々木昌夫先生にお願いすることとなった。
■報告事項
1, 各大学の現状
各大学の現状について報告を行った。
■その他
・第63回大学美術教育学会金沢大会が令和6年9月14日（土）・15日（日）で開催される事を確認した。そして令和6年3月14日（木）の部門役員会・学会理事会で報告

された、学会大会における議長団選出に「近畿・四国地区」が関わっている事の報告を行い、四国地区から代表者を選出する際には香川大学から選出する事の確認を行った。
・部門地区課題アンケートの提出に向けた内容確認を行った。内容については、アンケートに記載した通りである。
作成者：香川大学 尹智博

V 中国地区・九州地区

【中国地区会】

日時
令和6年6月15日（土）
13:00～15:00
場所
ZOOM オンライン
(開催校：広島大学)
出席者：全16名
広島大学：
井戸川豊 中村和世
一畝田徹 池田吏志
多田羅多起子 蜂谷昌之
八木健太郎 堀川すなお
岡山大学：
清田哲男 山本和史

■開催校企画：実践・研究発表会
1, 「学生と取り組む地域美術資料の掘り起こし」(広島大学 多田羅多起子)
丸木位里生誕の地での、学生を主体とした地域を巻き込む探究的な取り組みが紹介された。
2, 「制作報告 分かろうとする行為」(広島大学 堀川すなお)
対象を観察する、もしくは、対象を理解するとは何かを着眼点とした作品づくりが紹介された。
■報告事項
1, 教大協全国美術部門・大学美術教育学会

部門役員会・学会理事会報告
2027年度の部門全国大会、大学美術教育学会の開催校について、山口大学が予定されていることが報告された。
2, 2023年度中国地区会議事録の確認
昨年度の議事録が確認された。
3, 会計関係書類の引き渡しについて
山口大学から広島大学への会計関係書類の受け渡し方法について確認された。
■協議事項
1, 2023年度地区会計報告及び2023年度地区会計監査
山口大学より、事前配布をしていた資料（各

山口大学：
上原一明 中野良寿
平川和明
島根大学：
小谷充 藤田英樹
有田洋子

種領収書・通帳コピーなど）に基づき、会計報告が行われた。ZOOMの挙手機能を用い、賛成多数で監査として認められた。

2, 教大協全国美術部門地区課題アンケートについて

事前に各大学や個人から提出された意見を集約した資料に基づき意見交換が行われ、追加で問題点や要望等が加筆された。

3, 金沢大会部門役員会、学会理事会への出席者と出張旅費について

2024年度の学会参加について確認された。

4, 2027年度全国大会について

2027年度の山口大学の教員数の見通しが共有され、中国地区の大学および教員への学会

開催時の協力体制について依頼があった。ただし、見通しが不明瞭なため、継続して情報収集や情報共有を継続していくことになった。

■地区理事交代挨拶および次期当番校挨拶

吉田貴富（山口大学：2022～23年度）／池田史志（広島大学：2023～24年度）／赤木里香子（岡山大学：2024～25年度）の地区理事交代が確認され、継続理事の池田と次期当番校（岡山大学）の山本から挨拶があった。（敬称略）

作成者：広島大学 池田史志

【九州地区会】

日時

令和6年6月28日（金）
14:30～16:45（16:30までの予定を15分超過）

場所

Zoomによるオンライン開催
（主催：熊本大学教育学部）

出席者 全23名

福岡教育大学：
千本木直行 本田代志子
松久公嗣 笹原浩仁
加藤隆之 上野真歩
佐賀大学：
栗山裕至
長崎大学：
牧野一穂 兼原啓二
中川泰
大分大学：
廣瀬剛 村上佑介
宮崎大学：
幸秀樹 大野匠
大泉佳広 松下久子
樺島優子
鹿児島大学：
小江和樹 桶田洋明
清水香
琉球大学：
スプリー・ティトゥス
熊本大学：
喜久山悟 松永拓己

■開会あいさつ

開会にあたり、熊本大学の藤田豊教育学部長より挨拶があった。全国的に補充が進まない教員配置の問題、それに伴う大学間の共同課程の設置の動きが示され、同時に教員養成の質保証に係る様々な課題についての指摘であった。

■協議事項

- 九州地区美術部門研究協議会の繰越金の使途について
- 九州地区部門会費の有効利用と、引継ぎ方法について

■承合事項

- 美術分野でのサービ斯拉ーニングが実施・計画されているか。内容、規模や時間数、時間の確保、実施上の問題点等について
- 小学校教育実習における学生の配属のされ方について
- 授業で使用する設備等の新規導入・更新にかかる予算の捻出方法について
- 講座が主催する美術科所属学生の交流を目的としたプログラム（学外学習等）について
- 各県の教員採用試験の受験資格について
- 大学間の共同による教職課程に関する議論の進捗状況について
- 美術科学生への動機づけについて、特に一括入試によって配属された美術科学生への

の指導方法に関して

- 8, 教員就職率向上に向けた取り組みについて
- 9, 教員の裁量労働制と労働時間管理の現状について
- 10, 各県の教員採用状況とその傾向について

■報告事項

- 新規入会者
宮崎大学：松下久子准教授

■その他

- 令和7、8年度の本協議会担当大学について
昨年（令和5）の申し合わせの通り、本協議会の担当大学は以下のように引き継がれることが確認された。

令和6年度：熊本大学（喜久山 悟）
令和7年度：琉球大学（スプリー ティトゥス）
令和8年度：鹿児島大学（未定）

- 2, 全国部会より依頼のあった「部門地区課題アンケート」について

本協議会終了後に九州地区各大学の回答を取りまとめ、部門総務局へ提出（7/4）された。

作成者：熊本大学 喜久山 悟